未踏ソフトウェア創造事業(2006下期) 最終成果報告会

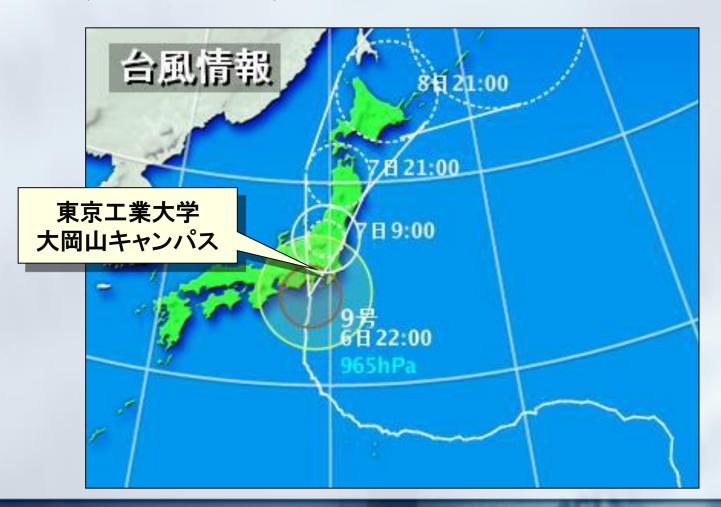


The Security-Enhanced PostgreSQL

KaiGai Kohei <kaigai@kaigai.gr.jp>

はじめに

■ 悪天候の中、ご参加ありがとうございます



本日のアジェンダ

Ⅰ. プロジェクトの概要・背景・思想

II. SE-PostgreSQLアクセス制御方式

III. デモンストレーション

IV. SE-PostgreSQLの展開と未来

どんなプロジェクト?

- SELinuxとの連携によって PostgreSQLのアクセス制御機能を強化
 - ✓ データベースに対する、細粒度・強制アクセス制御
 - ✓ OSと一体化した情報フロー制御
 - → 究極目標:『安心して利用可能なITインフラの提供』
- ■プロジェクトの成果
 - SE-PostgreSQL 8.2.4-1.0 正式版リリース (′07/09/03)
 - ✓ Linuxカーネルへの SE-PostgreSQL 対応機能の追加
 - ✓ コミュニティ標準ポリシーへの SE-PostgreSQL 対応の追加
 - "The SE-PostgreSQL Security Guide" のリリース
 - Fedora Projectへのマージ

"情報資産"を守る(1)

- 何を守りたいのか?
 - ■情報システム
 - ■情報資産
- ■情報資産の格納手段とアクセス制御
 - ✓"情報"を格納するには媒体が必要
 - ファイル ... 'rwx'によるパーミッション制御
 - データベース ... GRANT/REVOKEによるACL

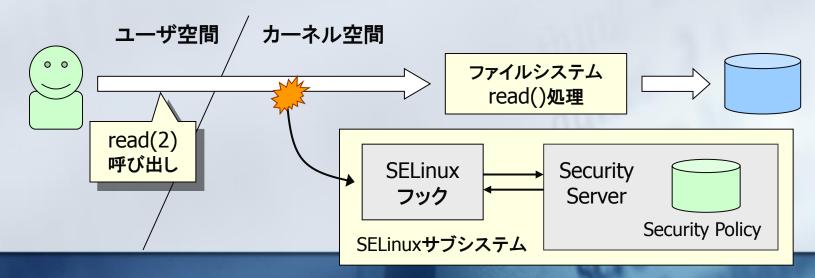


"情報資産"を守る(2)

- SE-PostgreSQLの考え方
 - ■情報の格納方法に拠らず、同じ情報には、 同じアクセス制御が実施されるべき
 - ■ファイル、データベースの差異は『手段の違い』
- 共通のアクセス制御のために
 - ■『共通の評価尺度』と『共通の意思決定システム』
 - ■"情報"のセキュリティ属性を抽象化/共通化
 - ✓ ラベル、セキュリティコンテキスト、etc
 - 一元化されたセキュリティポリシー
 - ✓ Security ServerとしてのSELinux

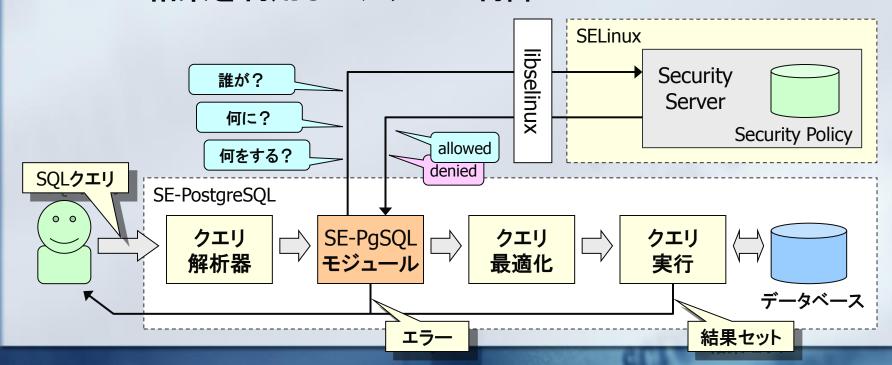
SELinuxとの連携 (1)

- SELinux
 - OSのリファレンスモニタ
 - System Call実行に対する強制アクセス制御
 - Security Server
 - ■セキュリティポリシーの管理
 - ■要求されたアクションの実行可否を回答

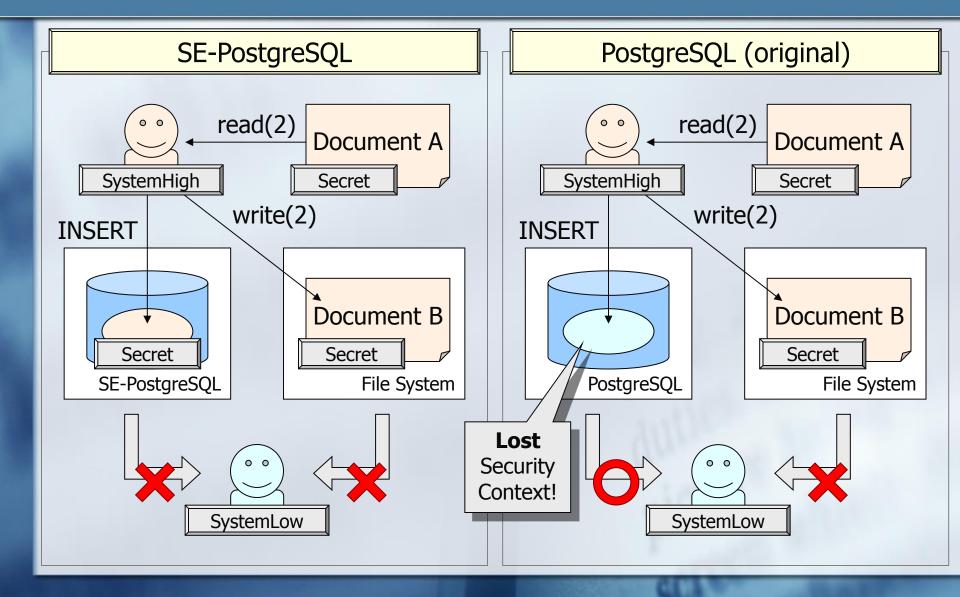


SELinuxとの連携 (2)

- SE-PostgreSQL
 - DBオブジェクトのセキュリティコンテキストを管理
 - Security Serverに問い合わせ
 - ⇒ 結果を利用してアクセス制御



情報フロ一制御



本日のアジェンダ

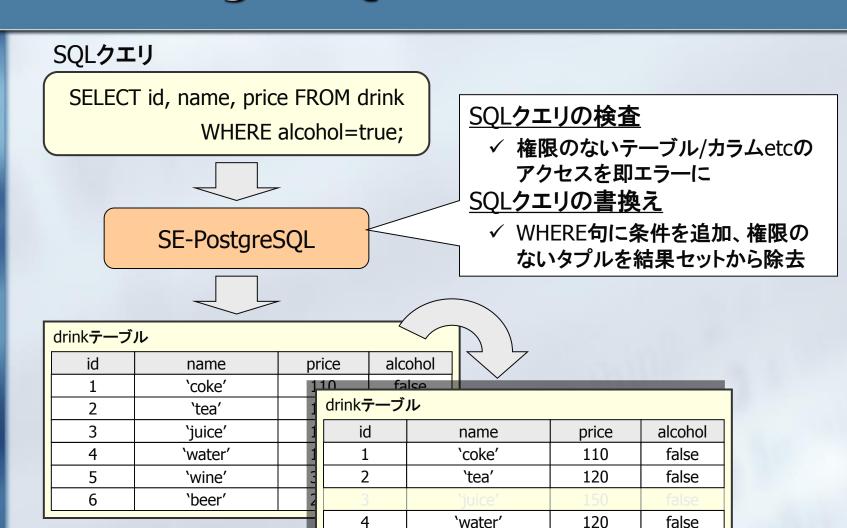
I. プロジェクトの概要・背景・思想

II. SE-PostgreSQLアクセス制御方式

III. デモンストレーション

IV. SE-PostgreSQLの展開と未来

SE-PostgreSQLのアクセス制御



6

'beer'

240

true

SQLクエリの検査

- SQLクエリには…?
 - 対象のDBオブジェクトと、アクセス方法が記述されている
- SQLクエリの検査方法
 - クエリからDBオブジェクトを抽出、パーミッションを検査
 - 権限が不足していれば、即座にトランザクションをアボート
- 6種類のオブジェクトクラス、58種類のパーミッション

db_database	db_table	db_column	db_tuple	db_procedure	db_blob
create drop getattr setattr relabelfrom relabelto access	create drop getattr setattr relabelfrom relabelto use	create drop getattr setattr relabelfrom relabelto	relabelfrom relabelto use select update insert	create drop getattr setattr relabelfrom relabelto	create drop getattr setattr relabelfrom relabelto
install_module load_module get_param set_param	select update insert delete lock	"標準セキュリティポリシー"に 既にマージされている			

Case Study (1)

SELECT id, name, price * 1.05 FROM drink WHERE id in (3,4);

- idカラム ... db_column:{select use} 権限
- nameカラム ... db_column:{select} 権限
- priceカラム ... db_column:{select} 権限
- drinkテーブル ... db_table:{select use} 権限
- numeric関数 ... db_proceduer:{execute} 権限
- numeric_mul関数 ... db_procedure:{execute} 権限
- 各タプルに対して ... db_tuple:{select use} 権限

SQLクエリの書き換え

- 行レベルアクセス制御の課題
 - 実際にSQLクエリを実行するまで、 どのタプルにアクセスするのか予想できない
- 解決策
 - SQLクエリ実行時に、タプルへのアクセス権を評価
 - SQLクエリのWHERE句を書き換えて条件を追加
- 例
 - SELECT * FROM drink WHERE alcohol = true;
 - SELECT * FROM drink WHERE alcohol = true

AND sepgsql_tuple_perms(...);

各タプルのアクセス権を 評価するSQL関数

'security_context' システム列

- 行レベルアクセス制御の課題
 - 個々のタプルのセキュリティ属性をどのように表現するか?
- 解決策
 - 'security_context' システム列でセキュリティ属性を表現
 - システム列:
 - ✓ 全てのテーブルで自動的に作成される隠しカラム。
 - ✓ 本来は Read-Only な属性
 - → 'security_context' は書込み可能なように拡張
- 例
 - SELECT security_context, * FROM drink;
 - INSERT INTO drink (security_context, id, name, price)
 VALUES('system_u:object_r:sepgsql_ro_t', 7, 'milk', 130);

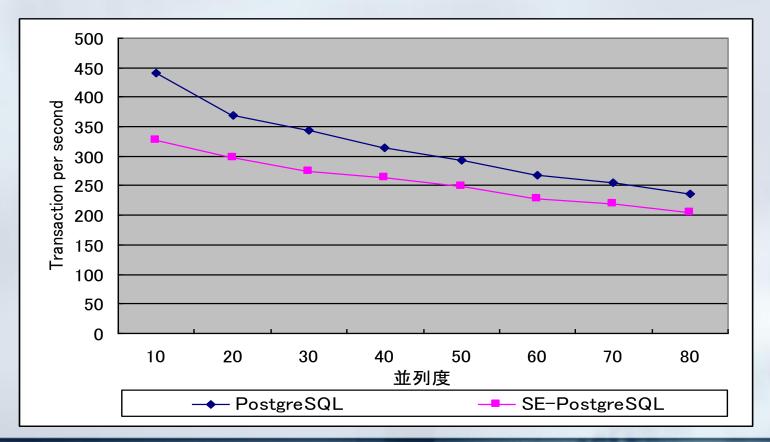
Case Study (2)

UPDATE drink SET name='sake', price = 2 * price WHERE id = 3;

- nameカラム ... db_column:{update} 権限
- priceカラム ... db_column:{select update} 権限
- idカラム ... db_column:{use} 権限
- drinkテーブル ... db_table:{select use update} 権限
- int4mul関数 ... db_procedure:{execute} 権限
- int4eq関数 ... db_procedure:{execute} 権限
- 各タプル ... db_tuple:{select use execute} 権限

パフォーマンス (ご参考)

- pgbenchによる測定
- Core2DuoE6400, Memory: 1GB, HDD: Serial-ATA
- Scaling Factor = 10, Number of total transaction = 120,000



Case Study (3)

CREATE TABLE t1 (x integer primary key, y text);

- t1テーブル ... db_table:{create} 権限
- xカラム、yカラム ... db_column:{create} 権限

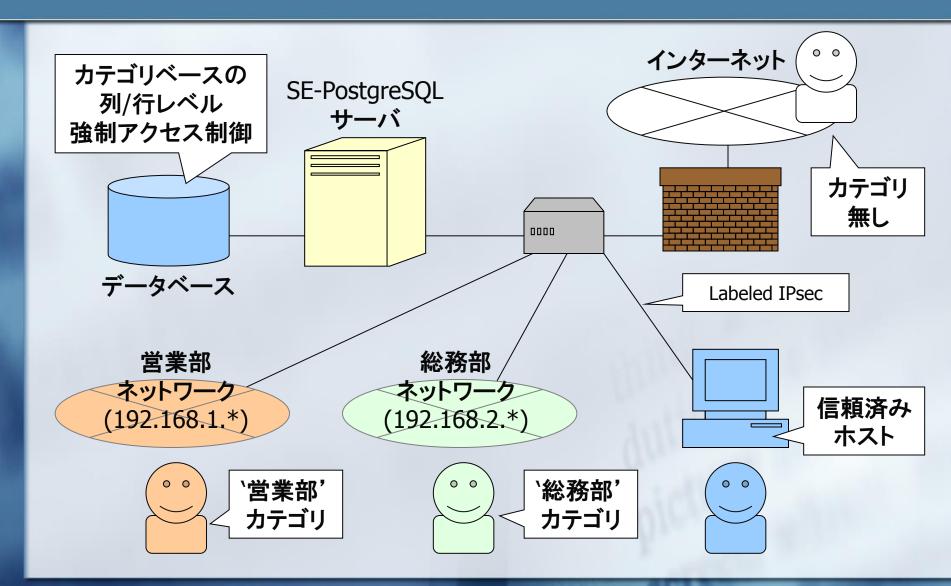
セキュリティポリシーは、新しいDBオブジェクトの セキュリティコンテキストを決定するルールを持っている。

- 全てのシステム列 ... db_column:{create} 権限
- pg_typeシステムカタログに、t1のメタ情報を追加する権限
- TOASTテーブルを作成する権限
- インデックスを作成する権限
- → SE-PostgreSQLは徹底的にチェックを行なう

その他の諸機能

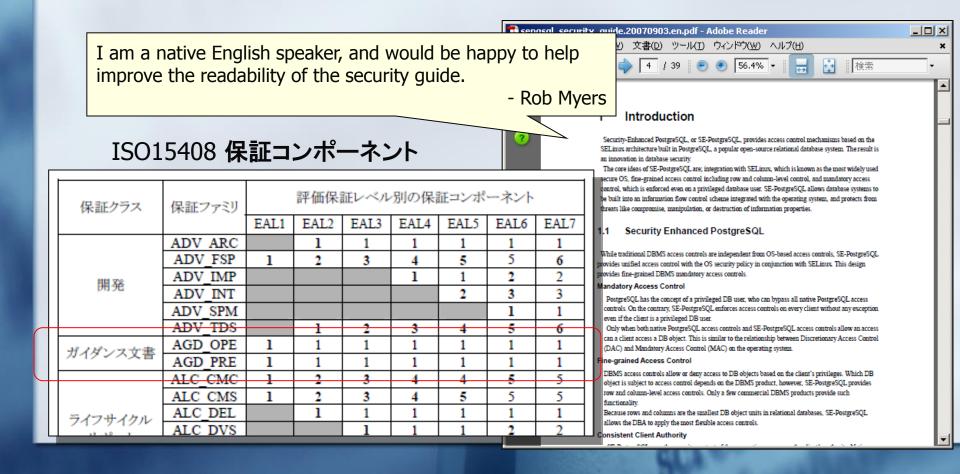
- PGACE (PostgreSQL Access Control Extension)
 - ■他のセキュアOSでも、類似機能を実装する枠組み
 - Trusted Solaris開発者との議論の中で生まれた
- Trusted Procedure
 - 機密情報にアクセスするための安全な手段を提供
 - SELinuxのドメイン遷移の考え方を応用
- 拡張pg_dump/pg_dumpall
 - --enable-selinux オプションで、 セキュリティコンテキスト付きのバックアップ

SE-PostgreSQL利用環境



The SE-PostgreSQL Security Guide

- SE-PostgreSQLの公式ドキュメント
 - ✓ 日本語版/英語版の両方を提供



本日のアジェンダ

I. プロジェクトの概要・背景・思想

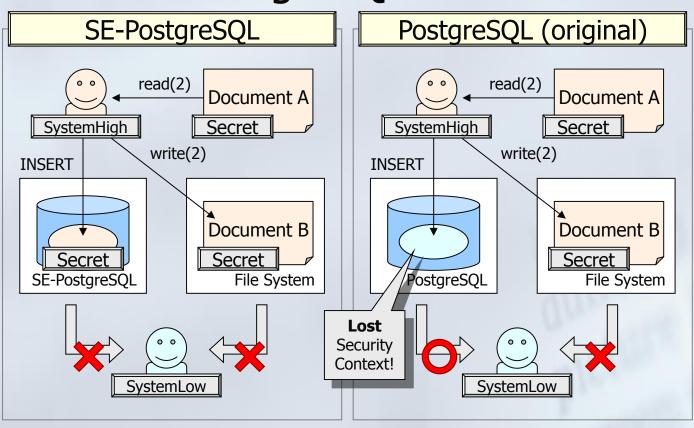
II. SE-PostgreSQLアクセス制御方式

III. デモンストレーション

IV. SE-PostgreSQLの展開と未来

デモンストレーション

- 行レベルアクセス制御の例
- オリジナルPostgreSQLとの違い



本日のアジェンダ

I. プロジェクトの概要・背景・思想

II. SE-PostgreSQLアクセス制御方式

III. デモンストレーション

IV. SE-PostgreSQLの展開と未来

SE-PostgreSQLの展開 (1)

■ 対外発表

- SELinux Symposium 2007/Baltimore
- PostgreSQL Conference 2007/Tokyo、他
- SELinux Developer's Summit での議論
 - LinuxカーネルのSE-PostgreSQL対応インターフェース
 - 標準セキュリティポリシーのSE-PostgreSQL対応





SE-PostgreSQLの展開 (2)

- @ITでの連載記事
 - 「SE-PostgreSQLによるセキュア・データベース構築」
- "Linux Weekly News"で取り上げられる



SE-PostgreSQLの展開 (3)

- Fedora Project
 - Fedora開発版(rawhide)にSE-PostgreSQLがマージ
 - ✓ selinux-policy-3.0.6以降のSE-PostgreSQL対応
 - ✓ Fedora Packaging Guideline に基づくレビュー
 - ▶ Fedora 8 以降での利用が可能に
- PostgreSQLコミュニティ
 - Trusted Solaris開発者との議論
 - 類似機能の実装を容易にする PGACE PGACE: PostgreSQL Access Control Extension
 - PostgreSQL本流への統合
 - 現在は PostgreSQL 8.3 への Features Freeze 中
 - ターゲットは PostgreSQL 8.4 (2008秋?)

SE-PostreSQLの情報源

- 公式サイト
 - http://code.google.com/p/sepgsql/
 - ✓ ドキュメント、RPMパッケージ、Subversionリポジトリ
- メーリングリスト
 - sepgsql@kaigai.gr.jp
- @IT 連載記事
 - SE-PostgreSQLによるセキュア・データベース構築 http://www.atmarkit.co.jp/fsecurity/rensai/sepgsql01/sepgsql01.html
- Fedora Project
 - 各ミラーサイトより、開発版(rawhide)を取得可能

今後の展望

- 対 Fedora Project
 - Fedoraのパッケージとして、実績を蓄積すること。
 - 将来的には商用ディストロへも…。
- 対 PostgreSQLコミュニティ
 - PostgreSQL 8.4.x (2008秋) に向けて議論を開始
 - PGACE/SE-PostgreSQL機能のプッシュ
- 次バージョンのSE-PostgreSQLへ向けて
 - pl/pgSQLスクリプト言語拡張
 - Polyinstantiationテーブル
 - etc, ...

最後に

- SE-PostgreSQL開発のポイント
- → オープンソースコミュニティとの連携
 - SELinux, PostgreSQL, Fedora Project, etc...
- その分野の専門家の知見をフィードバックできる
 - → ソフトウェア品質の向上、新機能の提案
- 関連するパッケージの対応
 - Linuxカーネル、selinux-policy、libselinux、etc...
 - → より多くのユーザが利用することに
- つまり、Powered by OSS Community!!



Any question?



Thank you!